

保育行政に係る課題及び対応状況等

課 題	経過及び現況	対応状況	財源等
待機児童の解消	平成18年4月1日時点の待機児童数は、75人であり、以降、平成20年までの待機児童数は概ね60数人から80数人という状況であった。平成21年4月の待機児童数は117人となり、平成22年4月に91人と一旦減少したが、その後、平成26年まで待機児童は増加し続けていた。市では、これまで既存認可保育所の定員拡充、年齢別定員の見直し、定員の弾力的運用、民間認可保育所の新設、認証保育所の新設、既存認可保育所の定員拡充、定員拡充を図った上で、認証保育所の認可保育所への移行、家庭福祉員の増員等に取り組んできたところであるが、その解消には至っていない。平成27年4月には、待機児童解消施策の効果もあり、待機児童数は164人と減少したが、本市の待機児童数はいまだ高い水準となっており、待機児童の解消は、引き続き本市の喫緊の課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ■平成19年4月 ひまわり保育園開設（保育室→認可保育所） ■平成22年4月 アスク武蔵小金井開設（認可保育所） ■平成23年4月 にじいろ保育園武蔵小金井開設（認証保育所） 小金井北プチ・クレイシュ開設（認証保育所） ■平成24年4月 第二コスモ保育園開設（認証保育所） ■平成25年10月 けやき保育園移転改築（認可保育所） ■平成26年4月 けやき保育園定員拡充 ココファンナーサリー東小金井開設（認証保育所） ■平成26年11月 東京学芸大学 学芸の森保育園開設（認証保育所） ■平成26年11月・平成28年3月 グループ保育室開設 4箇所（平成27年度から小規模保育施設へ移行） ■平成27年4月 こむぎ保育園増改築（認可保育所） ういず武蔵小金井保育園開設（認可保育所） 駅前コスモ保育園（認証保育所→認可保育所） 小金井北プチ・クレイシュ（認証保育所→認可保育所） ■平成27年10月 みらいえ保育園武蔵小金井開設（小規模保育施設） □平成28年4月 キッズガーデン東小金井駅前保育園開設（認可保育所） グローバルキッズ武蔵小金井園開設（認可保育所） 第二コスモ保育園（認証保育所→認可保育所） □平成28年4月 家庭福祉員新規認定 □平成29年4月 特定教育・保育施設新規開設 	子ども・子育て支援事業計画 上、平成29年度までの待機児童解消を目指している。今後、増加する特定教育保育施設等の利用者に係る費用に利用料見直しにより見込まれる歳入増を財源として充てることとする。

課 題	経過及び現況	対応状況	財源等
保育サービスの拡充	すべての子育て家庭への支援策として、保育施設を利用していない保護者の育児疲れ、社会的理由等による保育に対するニーズに対して、一時保育サービスの拡充も急務となっている。現状では、予算上及び体制上の問題から十分に対応できているとは言い難い。また、心身の発達において特別な配慮が必要な子どもや要保護児童・要支援家庭の支援、さらに休日保育や延長保育の更なる延長についても、早期の対応が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> ■平成13年4月 一時保育事業開始 ■平成26年4月 障がい児保育の拡充（定員増） ■平成25年11月 くるみ保育室開設（病後児保育施設） ■平成26年度 保育所等入所相談支援員配置 □平成29年4月 病児保育施設新規開設 	保護者の多様なニーズに応じる事業の拡充（一時保育拡充、病児・病後児保育、夜間・休日保育）、地域の子育て支援の核となる事業の展開（園庭開放、子育て相談）、障がいのある子どもへの配慮（障がい児保育拡充・一時保育）について、利用料見直しにより見込まれる歳入増を財源として充てることとする。
認可保育所と認可外保育施設を利用する際の利用者負担の格差是正	認証保育所を含む認可外保育施設については、特に3歳未満児及び多子世帯の保育料負担の認可保育所との格差が指摘されており、保育を希望する家庭が等しく保育サービスを受けられるよう保育料の見直しと合わせて所得の状況に応じた負担のあり方を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ■平成23年度 助成額見直し（8,000円から9,000円に増額） □平成28年度 助成額見直し（9,000円から10,000円に増額） 	利用料見直しにより見込まれる歳入増を財源として充てることとする。
保育施設の維持・管理	小金井市施設白書（平成23年3月作成）において小金井保育園は築20年以上を経過しており、今後、大規模改修等の老朽化対策の検討が必要との指摘を受けている。くりのみ保育園、わかたけ保育園、さくら保育園についても築30年以上経過している施設であり、「バリアフリー・環境対応」についての改善が求められている。また、民間の保育施設についても改修等の必要性が生じた場合には、対応が必要となる。	<ul style="list-style-type: none"> ■平成18年度 くりのみ保育園耐震補強工事实施 ■平成20年度 わかたけ保育園耐震補強工事实施 ■平成21年度 さくら保育園耐震補強工事实施 光明第二保育園改築工事实施 ■平成25年度 けやき保育園及びピノキオ幼児園移転改築工事实施 ■平成26年度 貫井保育園大規模改修実施 ひなぎく保育園改修工事实施 	今後、各所の老朽化による修繕、改修等の増加が予想されることから、計画的な大規模改修等が必要であり、今後、利用料見直しにより見込まれる歳入増を財源として充てることとする。